

第37回定期全国大会を開催

7月9日、静岡市内において、第37回定期全国大会を開催し、安全への取り組み・コロナ禍対策・組織課題・政策課題を柱に、真摯な討議を経て当面する活動方針を満場一致で決定しました。



大杉委員長

当日は、コロナウイルス感染症予防に万全を期すとともに、大会時間を短縮し、コロナ禍により各地域や家庭等の事情により参加できない執行委員や代議員のため、ZOOMによるライブ配信し意思統一を図りました。

小笠原副委員長による開会挨拶後、議長に菊池代議

員（北海道地区本部）を選出し、大会を代表して挨拶に立った大杉委員長からは、「7月3日に発生した熱海市伊豆山地区での土石流被害状況・安全への取り組み・会社の経営状況・コロナ禍における取り組み・夏季手当結果・政策課題・人事制度・政治対策等」を述べられ、来賓のJR連合政所事務局長からは、安全の取り組み・組織課題・JR連合ビジョン・政策、政治課題等、JR連合が今後取り組んでいく課題を具体的に述べられました。



小笠原副委員長

続いて、赤松中執より祝電メッセージを披露し、執行部より中央委員会以降の活動報告・協約協定の締結・会計

監査報告・今後の活動方針（案）が提起され、質疑応答では、安全対策・コロナ禍対策・組織課題・政策、政治対策課題・保全関係・夏季手当結果・シニア社員における課題・女性社員における労働条件改善等、多くの質疑が交わされました。

辻村書記長による総括答弁では、「組織課題については、各地区が鋭意に取り組んでいることは承知しているが、まずは現場での業務態度や言動等で信頼を得る関係を築いて頂きたい。安全面では、身近な場所で死亡労災が起きていることを強く認識して頂き、安全最優先の取り組みをお願いしたい。



JR連合政所事務局長

青函共用走行問題や鉄道設備強靱化の政策課題、衆議院解散総選挙等の政治対策については、JR連合と共

に取り組んでいく。人事制度・コロナ禍対策・保全関係・女性社員労働条件改善等、各地区からの意見や不満を吸い上げ、組合員の声を会社に届けていきたい」と強く訴えました。



JR連合森安政策部長

その後、役員改選を行い新執行部体制が確立し、大会宣言（案）を読み上げ、閉会挨拶後、大杉委員長による団結ガンバローで会を終えました。



菊池議長

7月3日、熱海市伊豆山地区で発生した土石流により、お亡くなりになられた方々には心よりお悔やみ申し上げ、未だ行方不明の方からない方々の早期の発見を切に願っております。また、今回の大雨により、山陰地区・中国地区・九州南部地区においても、多くの被害が出ています。被災された方々が元の生活に早く戻れますことを心より願っております。

「2021年度執行部体制」

大杉正美 中央執行委員長（東海）

小笠原浩文 中央執行副委員長（東北）

辻村和裕 書記長（東海）

埴岡大介 中央執行委員（関西）

吉永和文 中央執行委員（北海道）

赤松重幸 中央執行委員（九州）

小山達礼 中央執行委員（東海）

内山進 特別中央執行委員（関東）

鈴木教仁 青年部長（東海）

鈴木俊巳 会計監査（東北）

加藤典久 会計監査（東海）

会計監査（東海）